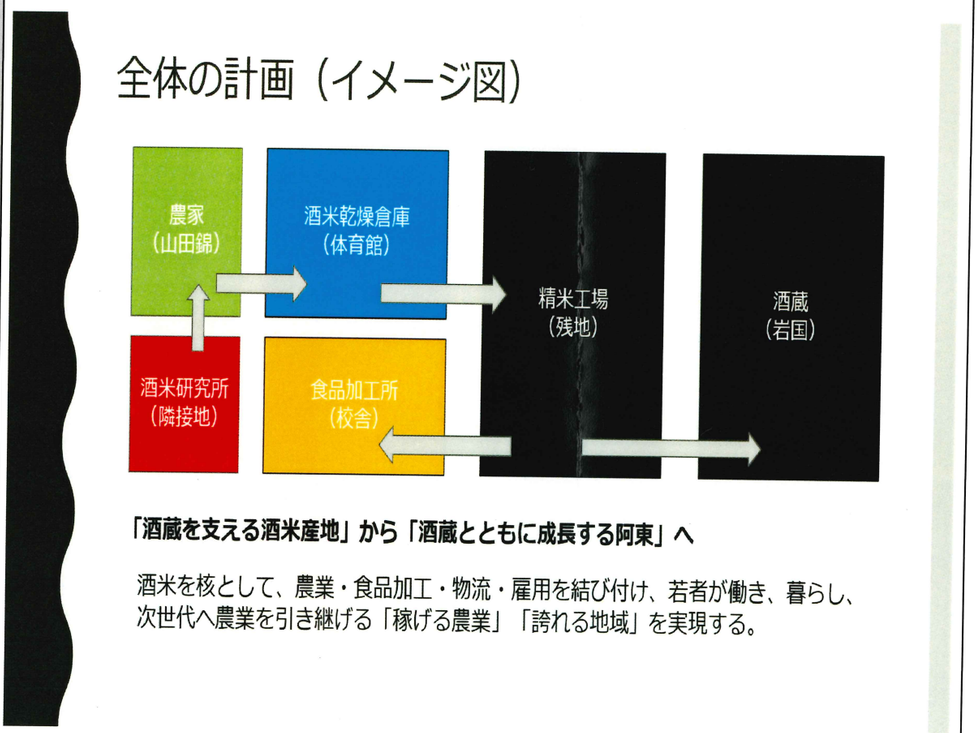
様式８　提案概要書　株式会社 獺祭

項目	内容	項目	内容
提案名称	～日本酒と日本の農業の未来を支える存在へ～ 酒米研究所および集荷・調整・精米・保管・加工の総合拠点の構築	全体の計画	◆図（配置図、イメージなど） 
提案の動機	◆提案の動機について記載してください。 酒造業界の今後の発展には海外市場の開拓が急務である。大吟醸が主力商品となるのであれば製造能力の拡大だけでなく原料米の安定確保、生産者の育成、温暖化に対応した品種改良など酒造りを支える環境そのものの整備が重要となる。阿東は豊かな自然と農地を有し、良質な米作りに適した地域である一方、担い手不足や農地の減少などの課題を抱えている。阿東を舞台に酒米生産者と連携し、安定した収量と品質を確保できる技術と栽培環境を整備する。山口の清酒ブランドと地域の農業を結びつけることで農業所得の向上、担い手育成、農地の維持を図り、酒造りを核とした持続可能な地域活性につなげていきたい。 具体的に以下の2点を挙げる ～稼げる農業～ ・経済的に安定して収益を上げられる農業 ・市場ニーズに応じた高付加価値作物の生産 ・デジタル技術やスマート農業の導入による効率化 ～誇れる地域～ ・若者や新規就農者が夢をもって挑戦できる産業としての農業 ・安定収入が得られる仕組みの準備		
提案の概要	◆提案の概要について記載してください。 ～立地条件を活かした集荷施設と精米関連施設の運営～ 山田錦の生産量が増えるためには周辺環境の整備も課題となる。農業は酒蔵同様に装置産業的な側面を持っており、個人単位での設備投資は大きな負担となる。新規就農者や零細農家でも安心して生産に従事できる集荷・乾燥施設を整備する。また将来的には残った大部分の跡地も活用して山田錦の物流・精米・保管・加工を主とした総合拠点とする構想を検討している。 具体的に以下の2点を挙げる。 ～体育館の活用～ 集荷・乾燥施設に再整備して活用 就農者にとって大きな負担となるのが取引先の確保と大型の設備投資である。特に酒米の山田錦のような差別化された品種は購入者が限定され、品質管理に対する要望も多岐にわたる。特に新規就農者の負担や心理的不安を減らせる環境整備を既存の生産者や酒蔵が連携して実現できれば、参入への抵抗感が低くなると思われチャレンジ精神の醸成にもつながる。また、集荷を1個所に集約すれば物流面で効率的であり、乾燥施設では技術指導や交流が見込まれる。酒米にとって最大の敵である「胴割れ」への理解や対策面においても有効である。 ～農業実習棟の活用～ 山田錦の精米によって産出される副産物の各種米粉は、その成分も非常に有能であることが各方面の加工業者によって証明されており加工原料としての評価が高い。多くが高級調味料の米油やみりん向け原料に活用されている。あるみりんメーカーは、年間通して安定供給される米粉を見込んで専用の製造ラインを導入された。 阿東地区では山田錦生産者による味噌の製造販売を研究中であるが、これ以外にも清酒製造の過程で発生する酒粕を原料とした加工品などを検討し、米穀以外の収入源を模索していきたい。		

※Ａ３版１枚とすること。必要に応じて欄の高さを変更すること（幅の変更は不可）。

※記載の項目は必須とする（項目の追加は不可）。また、図には必要に応じ説明用の文字などを挿入すること。

※最優秀提案者となった場合には、記載の内容について公表することがあります。

【事業名】山口高等学校徳佐分校跡地活用